

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施 自治体名	課題の類型 1	課題の類型 2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために 令和7年度に実施する具体的取組	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を 測る指標	現 状 の 数 値	単 位	本 年 度 の 目 標 値	本 年 度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 (事業における成果、課題、改善点等)
宇陀市	②学校と地域の課題	学校支援ボランティアの確保・育成	現在、市内の小学校6校、中学校4校で、それぞれの学校・地域の課題に沿って特色ある活動をしている。昨年度に比べると地域の方に地域コーディネーターを担っていただいている学校が増加したが、未だ教職員が兼任しているところもあり、学校によって活動に差が出ている。	実際に活動いただいているボランティアの方に、地域コーディネーターを担っていただけないか声掛けを行うなど、人員の確保に努める。事務局と教職員のコミュニケーションを昨年度よりも多く取り、地域の方に地域コーディネーターを担っていただくにあたっての課題点を探ると共に、子どもたちに対する効果などについて周知を行う。	地域の方に担っていただくことになった学校もあり、ボランティアの方や地域の方への声掛けにより一定の効果があつたといえるが、本年度の目標達成のためには声掛けだけでは不十分である。引き続きボランティアの方への声掛けを行うと共に、課題点や現状の把握に努め、実情に合った方法で地域コーディネーターの発掘及び育成を図る。	地域の方が地域コーディネーターを務めてくださることにより、より地域の特色を活かした活動ができる。また、教職員の負担が減る。	地域の方が地域コーディネーターを務めている数	5	校	7	6	令和7年度は各校で学校運営協議会が立ち上がり始めたこともあり、これまでより声掛けや事務局と教職員のコミュニケーションを積極的に行った結果、目標の達成にはあと一歩及ばなかったが、過半数を超える学校で地域の方に地域コーディネーターを担っていただくことができた。さらに地域住民による地域コーディネーターの数を増やしていくために、引き続き声掛け等積極的に行うことに加え、事務局担当課同士の連携や情報共有を綿密に行い、説明会や各校への直接訪問などで地域コーディネーターのメリットや活動内容など情報発信を行う。